



発行所
岐阜農林高等学校
同窓会事務局

TEL <058> 324-1145

<http://www.ginou-dousou.org/>



バックナンバーをホームページで確認できます

購読料 年3回発行(郵税共)
年1,000円

印刷所
岐阜文芸社

「スクール・ミSSIONの具現と子どもたちの成長を目指して」



岐阜農林高等学校
校長 水野泰孝

同窓会の皆様におかれましては、日頃から母校の教育活動にご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

令和7年度人事異動にて赴任しました水野泰孝と申します。私はこれまで教諭として14年間、教頭として2年間、母校での勤務を経験させていただきましたが、今回、校長として着任することとなり心から嬉しく思っております。母校での学びや経験は、私の人生においてたいへん大きな影響を受けました。次世代を担う後輩生徒たちにも同じような素晴らしい経験を提供できるように、全身全霊をかけて取り組んでまいりますので、よろしく願います。

さて、本校では昨年度末「農業をリードし、地域社会の担い手を輩出してきた高校」として、企業や大学等と連携した探究的な学びや高度で専門的な学びを通して、地域や社会の課題解決に貢献できるスペシャリストの育成を目指す「学校」というスクール・ミSSIONを立ち上げました。これは、125年の歴史と伝統を誇る本校のプライドと責任をもち、本校教育の核となるプロジェクト学習をこれまでに築いてきた幅広いネットワークをフルに活用しながら推進することで、主体性や探究心を身に付けた専門性の高い地域の担い手を育成していく学校であることを宣言したものです。本校では、昨年に引き続き、独立行政法人「知財力開発校支援事業」、県教育委員会による「地域課題探究型学習推進事業(地域産

業担い手型)」の研究指定を受けており、生徒たちには滅多に経験できない貴重な機会を提供できそうです。こうした事業を活用しながら、主体的な行動力や実践力を育み、地域を支え、将来の担い手として活躍できる資質・能力を身に付けた専門的職業人の育成に努めていきたいと考えています。

始業式では生徒たちに、今年度のキーワードは「主体性を磨くこと」と話しました。決まったこと、答えのあることに積極的に取り組むということを超え、目の前で起こっている事象を自分事としてとらえ、それをより良くするための方策を自ら考え、仲間を増やして挑戦してほしいと願っています。

スクール・ミSSION具現と子どもたちの成長のため、保護者の皆様と学校が本音で語り合い、両者が両輪となってサポートしていただけるよう努めて参ります。同窓会の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

中衛工業株式会社

代表取締役
関谷 俊征

◎岐阜支店
岐阜市六条南34-9
tel.058-274-8881
fax.058-274-8860

◎本社
名古屋南区鶴里町3-11
tel.052-811-8111
fax.052-811-8311

<http://www.chuei.com>

金幣社 大井神社

宮司 園部 隆雄(昭和27年生)

〒501-0431
岐阜県本巣郡北方町2-16
電話(058) 323-0630

土木舗装一式請負

郡上舗道株式会社

代表取締役
倉橋 翔太

本社
岐阜県上市大和町鋸37の2
電話 <0575> 88-3163
郵便番号 501-4612

本巣支店
岐阜県本巣市三橋646
電話 <058> 324-1818
FAX <058> 324-7738

株式会社 松野組

代表取締役社長 松野 守男

本社
岐阜県瑞穂市穂積1330番地
TEL <058> 3273200(代)
FAX <058> 32715700
〒500-8082
岐阜市矢島町1丁目42番地
TEL <058> 2661386
T 5012112
山県営業所
〒5012112
山県市大字西瀬字蔵前1335番地の1
TEL <0581> 2212420

東海ホリの
農用ポリエレンフィルム
県下唯一のメーカー
東海ポリエチエ業務所

岐阜県羽島郡岐南町野中
☎ <058> 246-1313
名古屋営業所
名古屋西区前の川町四丁目
☎ <052> 521-9296

社長 大野 實

THE Union

総合建設コンサルタント
株式会社ユニオン

代表取締役
村橋 壘

〒501-0106
岐阜市西河渡2丁目57
電話 <058> 253-3111

支店・営業所
名古屋、恵那、高山、郡上、大垣、中濃、各務原、羽島、下呂、飛騨、瑞穂、関、多治見、浜松、福井、三重、飯田、関東(以上18箇所)

同窓会総会の案内

日 時 令和7年10月4日(土) 15:00～ 受付 15:30～ 同窓会総会
16:00～ 講演会 17:00～ 懇親会

テーマ 「こうして組織は衰退する ～あなたの組織は大丈夫～」

講演者：岐阜大学応用生物学部共同研究講座特任教授 名誉教授 理学博士 前澤重禮 氏

会 場 ホテルグランヴェール岐山 岐阜市柳ヶ瀬6丁目14番地 電話：058-263-7111

◇多くの同窓生の参加をお待ちしています。

本校職員の異動

〈退職者〉

高田 広彦 (校長)

牛丸 善博 (農業)

松原 直也 (書道)

〈転出者〉

中野 輝良 (教頭 農業)

飛騨高山高等学校(山田)

教頭

松永 師 (理科)

岐阜北高等学校

赤池 祐衣 (理科)

海津明誠高等学校

田尻 知代 (農業)

郡上高等学校(実習助手)

瀬瀬 和也 (事務部長)

岐阜高等学校

中川 裕子 (係長)

岐阜県図書館

橋本 陽子 (主査)

岐阜盲学校

〈転入者〉

水野 泰孝 (校長)

恵那農業高等学校 校長

高橋 史樹 (教頭 国語)

特別支援教育課 課長補佐

兼係長

服部美斗子 (理科)

加納高等学校

竹内 博規 (理科)

新規採用

市原 李保 (農業)

新規採用

伊藤 修 (理科)

新規採用(常勤講師)

河尻 亜美 (書道)

岐阜総合学園高等学校(常勤講師)

伊佐治健人 (農業)

新規採用(常勤講師)

太田竜之介 (農業)

新規採用(常勤講師)

松野 聡美 (事務部長)

特別支援教育課

深尾奈緒子 (係長)

岐阜北高等学校

谷口 聡 (主査)

衛生専門学校

ご退職職員の挨拶

〔楽 校〕 高田 広彦



歴史と伝統のある岐阜農林高等学校で再任用校長として

の任を終えることができました。この間、本校の校章である「日星章」にちなみ、星形の5つの部分をそれぞれ「同窓生の皆様」「生徒」「保護者」「地域の方」「教職員」と考え、それぞれの想いを揃えて、「チーム岐農」をスローガンとして、地域とともにある岐阜農林高校を目指すべく学校運営を進めて参りました。同窓生の皆様方には、創立百二十周年記念事業をはじめとして多大なご理解とご支援を賜りました

ことをこの場をお借りしてお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

これまで普通科や様々な専門学科で学ぶ生徒たちに接してきましたが、生徒たちの可能性を最も引き出すことができるのは、農業であると感じた三年間でした。世の中では失敗しないように、失敗させないように先回りすることが多いですが、農業は自然相手で、昨年と同じように栽培しても、天候や病害虫によってうまく生育しないこともあります。しかし、そのことすらも学びにつなげることができる素晴らしい教科であると感じました。

生徒たちは、まくわうりの普及、糸貫川のホタル保全活動、北方町教育委員会と連携した環境学習など、地域に根差した課題研究にも取り組んでいます。先輩たちの研究成果を基に、さらに深めていく研究もあれば、自分たちが新たに課題を見つけて取り組む研究もあります。課題研究では、受験勉強のように単に正解を求めるのではなく、課題に対して試行錯誤しながら解決につなげていくことで、自主と探究的な学びが実践できます。また、生徒たちが運営にも携わるプロジェクト発表会、意見発表会、農業鑑定競

技会などの農業クラブ活動も生徒自らが成長できる機会の一つになっています。

この三年間、学習面においては、日本学校農業クラブ連盟主催の農業鑑定競技会で二人の生徒が最優秀賞を受賞、全国高校生食育王選手権大会で優勝、部活動においては、演劇部、吹奏楽部、放送部、生物工学科が全国高等学校総合文化祭出場、馬術部、陸上競技部、女子バスケットボール部の全国大会出場はもとより、花いけバトル全国選抜大会優勝、日本パラリンピックの二百メートル優勝、アジアパラ競技大会の百メートル背泳ぎ第五位入賞、全日本相撲個人体重別選手権大会優勝、ポランドで行われた世界ジュニア相撲選手権大会優勝など、日本はもとより世界で活躍する生徒たちが育ってきており、彼らの活躍は新聞、テレビ等でも数多く報道されるなど目を見張るものがあります。生徒たちに「学校はどう？」と尋ねると、「実習が楽しいです。」と答えてくれます。岐阜農林高校が楽しい学び舎、つまり「楽校」でもあってほしいと願います。四月からは本校を離れますが、岐阜農林高等学校で学ぶ生徒たちのさらなる成長と今後の活躍を期待しております。

ご転出職員の挨拶

命を育み、つなぐ同窓会

中野 輝良



岐阜農林高等学校では2年間お世話になりました。在勤中は、同窓生の皆様方には多大なるご支援をいただき、改めて感謝を申し上げます。

さて、岐阜農林高校で過ごした時間(トキ)を振り返りますと、やはり生徒諸君が毎日当たり前「農業」を学び、それと向き合っていた様子が目に浮かびます。それは、早朝から日が暮れるまで、植物や動物を育て、農畜産物を加工し、それらを生み出す環境を創り、その命をいただく「学びの過程」を通して、生きていくために決してきれいな「命の尊さ」では済まされない「命の尊さ、大切さ」と、生きていくための現実」に生徒諸君が向き合ってきた姿です。実験・実習において、種をまき、水や肥料を与え、暑さ寒さから植物を守り、時に害虫と対峙し、大きく育った植物に、最後は自ら刃を入れ収穫する。即ち、「自ら命を育み、最後には自ら獲り、いただく」この農業の学びを共にした仲間同士であるが

ゆえに、岐阜農林高校の同窓生は、固く、深い絆で結ばれ、それが同窓会の力の源であると感じるところです。この2年間、理事会や定期総会、懇親会など、同窓会の活動に触れるたびに、世代を超えた、同窓生のつながりを強く感じました。岐阜農林高校の同窓会は、同じ学び舎とフィールドで、命を育み、学んできた共通項があるからこそ、価値が high と感じます。今後も、同窓生の皆様が時空を越えて、旧交を温め、親睦を深められ、活躍されますとともに、同窓会のさらなる発展を祈念いたしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

揖斐川支部活動報告

(その40)

令和七年三月二十九日に、谷汲山参道にある萬屋(よろずや)にて岐阜農林高校同窓会揖斐川支部総会・懇親会が開催されました。参加者は二十九名で、内藤同窓会長と事務局として山田が参加させて頂きました。

この総会では事業報告・会計報告がされ、事業計画・予

算案が承認されました。

また、役員の改選がされ、会長が高田義信さんから坪井重樹さんに、本部同窓会幹事が坪井重樹さんから立川直之さんに変わるなど役員改選について承認されました。

令和七年度の事業計画として特に触れられていたのは、新規会員の勧誘でした。現在六十九名の会員ですが、若い方を勧誘して七十五名を目標とされているとのこと。また、揖斐郡三町の同窓会設立を目指して、今回の総会・懇親会では池田支部四名の方が参加されていました。

(文責 山田 伸)

活躍する同窓生

山藤 勇治さん

(令和4年3月森林科学科卒業)



ドや多彩な技を武器に大きな相手にも立ち向かっていくのが彼の取り口であり、珍しい技を決めて、話題になることもある。

「大相撲の世界は高校の時とは、立ち合いが違い、遅れてしまうことが多くあったが、最近は稽古の成果もあり、立ち合いも早くなって自分の相撲が取れるようになってきた。」と話す。

令和4年3月に森林科学科を卒業後、大相撲の出羽海部屋に入門した。最高位は幕下51枚目である。本校出身の大相撲力士は4名おり、山藤さんの他に、栃岐岳、栃清龍(春日野部屋)、朝氣龍(高砂部屋)が大相撲の力士として奮闘している。

山藤さんは幼少期に相撲をはじめ、岐阜農林高校相撲部に入学した。本校在学中は全国高等学校相撲選抜大会個人体重別80kg級で準優勝、全国高等学校総合体育大会80kg級で第3位などの成績を残し、卒業後は大相撲の世界に挑戦することを決めた。

山藤さんは身長181センチ、体重74キロと大相撲の世界では小柄な力士である。軽量ながらも、持ち前のスピー



本校出身で関取になった力士はおらず、初の岐阜農林高校出身の関取として期待がかかる。山藤さんの今後の取り組みや昇進に注目である。山藤さんをはじめ、大相撲の世界に挑戦している同窓生の力士の活躍を応援している。

令和6年度卒業生 学科別進路状況 (令和7年3月31日現在)

進路先\学科			流通科学		園芸科学		動物科学		森林科学		環境科学		食品科学		生物工学		合計		総計
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
自 営	農業	直接 (進学後)	2			3	4	2	2								0	0	0
																	8	5	13
	その他																0	0	0
	計(進学後は除く)																0	0	0
就 職	生産技術								1								1	0	1
	製造・加工		2	3		4		1	7		2		3	1	1		15	9	24
	事務		1	2		1				1							1	4	5
	販売・営業					2			1								1	2	3
	サービス・飲食					1							2		1		0	4	4
	保安																0	0	0
	農林業			1													0	1	1
	輸送・運輸			1													0	1	1
	建設・測量								1		5						6	0	6
	医療・看護・福祉																0	0	0
	公務・公団・農協				1		1	1	5	2	6	1	1				14	4	18
	就職準備													1			0	1	1
	計		3	7	1	8	1	2	15	3	13	1	4	4	1	1	38	26	64
	進 学	国公立四大		4		2			2	1		5			1	4	2	16	5
私立四大		12	3	5	3	7	4	7		17	1	4	10	15	11	67	32	99	
国公立短大													1			0	1	1	
私立短大			1		2		2			1			1			1	6	7	
農業関係学校		2			3	4	2	2								8	5	13	
職業訓練校																0	0	0	
専修・専門学校		2	5	2	10	2	10	4	5	1	1	3	9	1	4	15	44	59	
その他・留学・研修																			
進学準備																			
計		20	9	9	18	13	20	14	5	24	2	7	22	20	17	107	93	200	
卒 業 生			23	16	10	26	14	22	29	8	37	3	11	26	21	18	145	119	
			39		36		36		37		40		37		39		264		

注) 進学の「農業関係学校」13名: 岐阜県農業大学校8名、岐阜県立森林文化アカデミー1名、岐阜県立国際園芸アカデミー1名、北海道立農業大学校1名、愛知県立農業大学校2名

シリーズ「岐農人」⑦

佐名敏己さん 写真左

(昭和四十四年林業科卒)



揖斐茶の産地、岐阜県揖斐川町の山腹にある標高三百、四百mの斜面に広がる茶畑が「岐阜のマチュピチュ 天空の茶畑」と称してPRされていますが、こちらを整備された立役者が佐名さんだと聞き、取材させて頂きました。

○天空の茶畑として整備されたきっかけを教えてください。

「茶畑の奥に大きなヒノキの原木があってそれを切り倒して搬出するために木材を運ぶ道を作るために整備したのがきっかけです。けれど、採算が合わないことが分かり、ヒノキはそのままとなっている。」

○茶畑を整備する上で最も大変だったことは何ですか?

「このあたりは国定公園となっており整備をした後に国からおしかりを受けたこと。山を守るためにも自分たちがやってきたことは間違っていないという自負はあるけれど、当初理解されなかった。」

○茶畑の整備をされて良かったことは何ですか?

「観光客もそうだけれど、地域の多くの方が喜んでくれたこと。少しでも多くの人に見に来て欲しい。」

佐名さんは林業科の卒業生で、かつては林業もされていた。結果的には林業は採算が取れないためお茶の栽培のみとなっているようですが、七十四歳という年齢ながら「現役」。最近、結婚もされたとのこと、ますますお元気になられた、と揖斐川支部の皆さんが話していました。

私もこの天空の茶畑を見たことがあります。お茶屋さんの駐車場に車を止めた後、徒歩で遊歩道を二十分ほど歩くと茶畑が一望できる展望台に到着します。斜面を登る山道の部分もあり、しっかりと靴を履いて歩かないとだめだと感じました。途中の林道はとても狭いので、大きな車で行くのにはすれ違うのに苦労すると思





紹介

今年度の校内幹事です。

います。是非、皆さんも岐阜のマチュピチュ 天空の茶畑を見に行ってください。そして、これが私たちの先輩のご苦労

で作られたことを知ること、で、より身近な観光地と感じられることでしょう。

(文責 山田 伸)

編集余記

今年度学校長に赴任した水野泰孝校長は本校農芸化学科の卒業生(昭和六十一年卒)で、本校卒業生の中で二人目の岐阜農林高校の学校長となるかと思っています。私は昭和六十一年に大学を卒業し本校の農業教員となりましたが、卒業生の中で五人目でした。その後、大学へ進学した後に農業高校の農業科教諭となる後輩が続き、今年度の本校の農業科教諭に同窓生は十名います(生工四、農化三、農一、環境一、流通一)。

今年度の教育実習(農業)には八名の卒業生(流通一、園芸一、動物二、食品一、生工三)が来ています。社会的には教員の希望者が減少しているといわれていますが、岐阜県の農業教員に限っては本校の卒業生が農業教員を目指しており、本校が農業高校を担う重要な基幹校としてますます重要であることを改めて感じました。

(文責 山田 伸)



セントラル・ローズ・ナーサリー
〒501-044 岐阜県本巣市七五三-1のF724
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277
代表取締役 大西 隆(昭和45年農卒) 裕(平成7年工卒)

株式会社
スグスイ住設

代表取締役
杉山 卓雄
(昭和54年農卒)

- 給排水空調設備工事
- 住宅水廻りリフォーム
- 住設ショールーム
- 雑貨 ガーデニング 喫茶

〒501-0531
事務所・ショールーム
揖斐郡大野町上磯67-1
☎0585-34-2487

昭和三フクリート工業グループ
株式会社 昭和ファーム
〒501-1181 岐阜市雛倉七九四番地の1
TEL (058) 339-1945
代表取締役 村瀬 大一郎



ENDO

森林総合プランナー
森林整備・木材生産・造園土木
株式会社
木の国

代表取締役社長 遠藤 一美
代表取締役社長 遠藤 雅樹
技術参事 遠藤 二己

本社
〒502-0812
岐阜市八代2-7-19
TEL (058) 231-5112
FAX (058) 231-4429

支社
洞戸・山県



丸尾コンクリート工業株式会社



代表取締役社長
棚橋 肇

本社 〒501-6293
岐阜県羽島市福寿町間島1518
TEL (058) 393-0211
HP <https://www.maruei-con.co.jp/>

